

～自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望にむかう子ども～
 ○ 自ら学ぶ子ども
 ○ こころ豊かな子ども
 ○ たくましい子ども

玉っ子

NO7 R4.7.20

文責 校長 佐藤則之

成長し続ける 子どもたち



4年生の男子児童数名が、校長室を訪ねてきた時のこと…何の用事か尋ねると「遊びに来ました」というではありませんか。しばし歓談した後、職員室前の廊下に掲示してある校舎の変遷が分かる写真を見ながら説明をしていると、「歴史って面白い」とつぶやき「ありがとうございました」とお礼の言葉を述べ教室へ戻っていきました。子どもたちは興味をもつと、教師の指示を受けるまでもなく、目を輝かせ、答えを探ろうとします。その子どもの目の輝きに、教育目標の一つ「自ら学ぶ子ども」の姿を垣間見た気がしました。



コロナ禍であっても、子どもたちは学び成長しています。同様に、私達も大人として（親として、教職員として…等々）学び、成長し続けることが大切なのでしょう。



◇ コロナ禍における教育活動の現状

1学期を振り返ると、コロナ禍で予定通りに進めることができた活動もありますし、予定通りには進めることができず中止や延期となった活動もあります。大切なのは、活動やること以上に、「何のためにその活動をやるのか」という根本的なところをしっかりと押さえていることと考えます。2学期以降も活動のねらいをしっかりと踏まえ取り組んでいきたいと考えます。

保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、「PCR 検査を受けました」との連絡も速やかに頂いています。そのため、情報をもとに消毒作業を重点的に行ったり、日々の感染対策の継続も意識化できたりしています。また、PTAの教養保健委員会の事業の一つとして、保護者による「消毒ボランティア登録」制度も新たに設けていただきました。既に何人かの方には活動を始めていただいています。今後、具体的に取組の様子についてご紹介していきたいと思えます。本当にありがとうございます。

さて、明日から夏休みとなりますが、今までと同様に、感染症対策にご留意頂き、あわせて情報を提供頂きますよう、よろしくお願いいたします。新型コロナウイルスによる感染状況は、未だになかなか先が読めません。2学期以降の各学年の教育活動も感染状況を見据えた上で判断していくことをご理解願います。

◇ 酷暑に伴う下校の際の安全確保について

今年の夏も、酷暑が予想されています。熱中症情報、暑さ指数を注視し、子どもたちの下校時間帯と重なるような場合には、必要に応じ下校時刻を遅らせたり、お迎えが可能な保護者の方にはお迎えを依頼したりするなど、連絡メールでお知らせいたします。どうぞ、ご理解とご協力をお願いします。

コロナ禍ではありますが、子どもたちにとって有意義な夏休みとなるよう、よろしくお願いいたします。